

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム おもやい

目標達成計画書

作成日: 平成 24 年 10 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつき合い	周りは一面の畑と、併設事業所しかないが、地域住民との交流は、長年の懸案事項であるので、相互協力関係を築いていく。	運営推進会議や家族の協力を得て、地域との交流関係を図り、行政にも協力してもらい、相互協力関係を築き、認知症高齢者の相談窓口として、活動していく。	12ヶ月
2		職員の質の向上と質の確保を目指す	利用者の重度化に伴い、職員の介護に関わる時間が長くなり、職員一人ひとりの負担が増加しているため、職員の技術力を全員がクリアし、均一の介護サービスの提供が出来る体制を確立していく。	職員の経験や、習熟度に合わせ、外部研修に交代で派遣し、報告会を兼ねた内部研修で、職員が理解し、知識を共有し、技術の向上を図り、職員一人ひとりが、意識の高揚と、やる気を起こしてもらい、少人数での充実した介護サービスを目指す。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。